

表1 従業員の多い産業

順位	業種	従業員数
1	老人福祉・介護事	1,791,324
2	病院	1,759,677
3	専門料理店(日本料理、ラーメンなど)	1,454,268
4	一般貨物自動車運送	1,420,046
5	コンビニ、料理品小売りなど	1,319,725
6	食料雑貨店、スーパーなど	976,976
7	建物サービス	968,764
8	一般診療所	915,145
9	労働者派遣	819,684
10	自動車・自動車部品製造	803,043

総務省と経済産業省が(百七十七万六千人)、「専門料理店」(百四十五万四千四百人)に次ぐ第三位となった。また、企業が一年間に稼いだ儲けを示す付加価値額は五兆四千六百億円で、「病院」(八兆七千七百

ドライバー・車両不足による輸送力の逼迫が現実となる中、もたためて適正運賃の収受や業務効率化といった生産性向上がトラック各社の課題として浮かび上がってきた。一方、今夏にまとめられた「経済センサス・活動調査」(3面「ラム」ことば 教えて!)を参照)では、トラックの生産性の低さを示す数値も、規制緩和後、激しい競争を続けてきた業界に生産性向上の余地はあるのか。

# 2年2カ月ぶり再開



トラック運送業は労働集約型産業で、「雇用の受け皿」としての役割を昔から担ってきた。産業全体の付加価値額が大きくても一人当たりで見れば生産性は低いが、生産性向上のない活動はこの世に存在しない。生産性の低さは、①昼夜を問わず働く不眠不休

## 「納得価格」の提案を

日本能率協会コンサルティング  
経営コンサルティング事業本部SCM革新センターチーフ・コンサルタント

岡 卓也氏

### 数

これは、労働集約型産業のトラックが「雇用の受け皿」

の業務形態の集荷・配送、その後工程をメーカーロスがコストに加味され二件回って一件百円、や流通によって挟まれていないだけ(岡氏)。

の業務形態の集荷・配送、その後工程をメーカーロスがコストに加味され二件回って一件百円、や流通によって挟まれていないだけ(岡氏)。

### 輸配送の改善 余地は大きく

荷役の改善事例は広く知られているが、輸配送に関する事例は少ない。裏返せば、改善余地が大きい仕事にしても、運賃が

### も

質に対する正当な運賃を得ることが必要

表

順位	業種
1	病院
2	銀行
3	一般
4	ノ
5	自動
6	一般
7	生命
8	高等
9	老人
10	経営

出安政策課長のため、クやハイタクへの展開  
トラックに関しては最終「ハード(車両の安全技術)とソフト(ドライバー)による安全確保」の連  
こん包材も「商品」に担。秋尾特積委員に乗り出す